

マスゴミニケーション

Masgominication

諸君、マスゴミニケーションという言葉をご存知かな？ 勿論、知っている人はいないはずだ。この言葉は、私が、あまりにもひどい、今のマスゴミのあり方を非難して付けたものである。何が問題化・・・と言えば、

1 国民の知的レベルを下げている張本人

お笑い番組、遊び半分のクイズ番組、面白さばかりを求めているやらせ番組、こんな番組に夢中になって、時間と、エネルギーを浪費している国民。結局、後に残るのは、自己満足と、一所懸命自分なりに努力することの馬鹿らしさだけ。こうして、一般大衆の日本人の知的レベルと、勤勉さと社会性がどんどん低下して行く。そのお先棒を担いでいるのがマスゴミだ。綺麗な服を着て、アイドル気取りの女子アナなど、全く、どんな責任感を持ってマスゴミの世界に入っているのだろうか疑いたい。

2 社会性の無い人間の犯罪を助長している

実に、刑事ものの番組が大繁盛だ。確かにストーリーとしては、ハラハラ、ドキドキはするし、最期には、水戸黄門よろしく、事件は解決するから見ていて安心感がある。ただ、その中には、犯罪のあくどさ、巧妙さ、そして、中には、実に高度な技術まで放送されている。こうした、手口を、冷静に見る事ができる通常の人で有れば、これは、単なるストーリーの中の話で済むが、しかし、中には、社会性に欠けるような人、反社会的な人達は、これにヒントを得て、より高度な手口で犯罪を犯しているケース、さらには、犯罪そのものを助長していることがあるようだ。之は、刑事ものだけではない。テレビに出演している弁護士のなかには、ここまでは犯罪にならない、証拠が無ければ逮捕されない、意図が無ければ、犯罪は立証されない、など、平然と今の法律の限界、そして、性善説だから、嘘をついても、証拠がなければ刑法では何もできないなどと、説明している。こんな、弁護士が番組に出てくること自体に問題がある。日本では難しい弁護士試験を通ることが出来ず、弁護士に為れず、全く取りやすいアメリカで弁護士資格を取り、でもアメリカでは弁護士に為れず、日本に帰ってきて、こねを使いマスゴミにはいり、マスゴミ受けする言動ばかりを繰り返す。そんな弁護士に限り、犯罪者の弁護をしているような発言が目立つ。そんなマスゴミのあり方、そのものに問題がある。

3. 事実とは思えぬ、そんな内容を平然と流している。

アメリカでのテレビ番組を見ていると、ニュース・キャスターが、びっくりするような映像を流しながら、ニュースを説明すると、「エーッ!」とか、「ホーッ」とか、その場に

居ない観衆の驚きの声がしょっちゅう流れてくる。まるで、映画の擬音効果そのものだ。これが、日本でも、スタジオに誰も観衆がいないのに、あるいは、クイズ番組などで、回答者だけしかいないような場合でも、こうした音を平然と使い、流している番組がある。ディレクターの質の悪さ、意地汚さ、視聴者を馬鹿にしているにも程がある。こうした意識があるから、びっくりカメラ、ドッキリカメラ、など、やらせの番組があとを絶たないし、その度がどんどん進んでいる。やらせをして、ドッキリを面白がるなど、どこかの劇場で、やればよいことで、公共の電波を使って放送するなど、世の中の退廃の最先端を行っているようなものだ。これはアメリカインディアンの話だが、ある部族は、先祖代々、高所での作業には何の抵抗もなく、命綱さえ使わずに、エンパイアステートビルの鉄骨作業をしていたそう。こうした、やらせではない、人間の限界に挑戦しているもの、人間ではできない、動物たちの持っている凄技などを紹介してくれる番組のほうが余程意味があると思うのだが、。。。。。

(続く)